

# その119番本当に必要ですか？



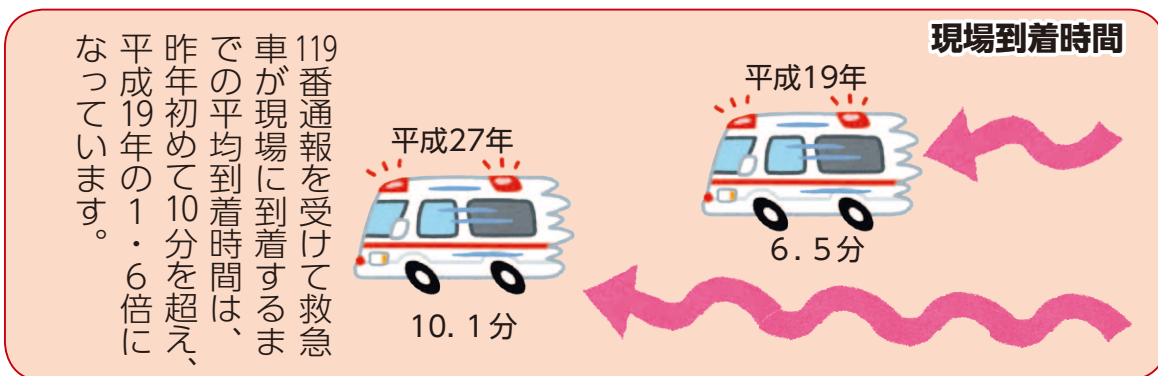
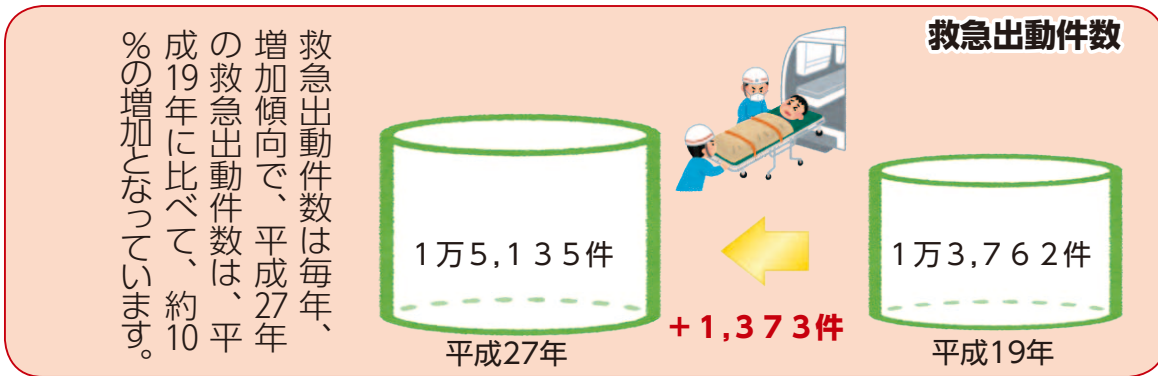
市内は**10台の救急車**で救急患者に対応しています！

### ▽救急出動の概要

	平成27年	平成19年
救急出動件数	15,135件	13,762件
現場到着時間	10.1分	6.5分
病院収容時間	37.0分	26.6分
電話1回で搬送病院決定率	91%	96%
6回以上問い合わせ件数	11件	0件

全国的に少子高齢化が進む中、本市の高齢化率は全国と比べてかなり高くなっています。救急搬送される高齢者の割合が高いことから、今まで以上に救急需要が高まることが予想されています。

今の救急医療は、救急医療に携わるすべてのスタッフの努力によってギリギリの状態を提供されています。さらに10年後…今の医療提供体制は継続できているでしょうか？いざというときに、安心して医療機関を受診できる体制を継続していくために一人ひとりに何ができるのか？みなさん、救急医療の現状を理解して救急医療の適正化について考えてみましょう。



問保健医療課

(☎ 231-1711)

# 10年後の

## 救急医療の現状は？

現在、119番通報したらおおよそ10分前後で救急車が到着し、ほとんどの場合、救急隊が交渉した1回目の病院が受け入れてくれます。ところが、団塊の世代がすべて高齢者となる平成37年には、高齢者の増加に伴う医療需要の増大が見込まれ、総合病院の患者は増え、救急車の利用も増え、「医療機関の適正受診」と「救急車の適正利用」がなければ、救急医療体制は崩壊しかねません！



▲詳しい内容は、動画で紹介しています！



動画はQRコードから視聴できます

市の公式ホームページ【インターネット放送局】からも視聴できます！

この様な例で救急車を要請すると、到着時間がどんどん延長します。

さらに！ 夜間休日に総合病院を受診すると緊急を要する患者の診療に影響が出かねません！



交通手段がない… 救急車は無料だから… 優先的に診てもらえる… どの病院に行けばいいかわからない… 診療時間外(夜間・休日)だった…

### ストップ!! 救急車の不適切な利用!

命を守る救急車の利用実態が変化してきています。救急車の到着時間にも影響が…



### ストップ!! コンビニ受診!

夜間・休日の軽症者のコンビニ受診が、市内の緊急を要する救急医療を担う4総合病院(※)の重荷となっています。適切な時間に、適切な医療機関を受診するように心がけましょう。

※関門医療センター・済生会下関総合病院・市立市民病院・下関医療センター

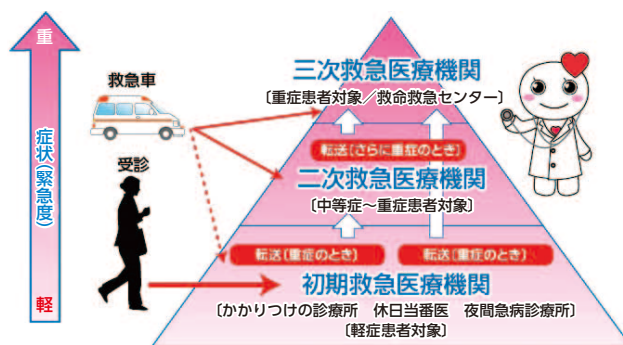


## もう一度おさらい! 下関市の救急医療提供体制

二次救急医療機関と三次救急医療機関は輪番制といって、4つの病院が交代で夜間や休日の緊急を要する救急患者に対応しています。夜間や休日に急病になったり、けがをした場合、まずは

### 休日当番医か 夜間急病診療所

を受診しましょう!



- 三次救急医療機関 関門医療センター
- 二次救急医療機関 済生会下関総合病院、市立市民病院、下関医療センター
- 初期救急医療機関 休日当番医、夜間急病診療所

市内には、限られた台数の救急車しかありません。軽症患者の救急搬送の対応に追われることで、重症患者への対応が遅れが生じるといったことが実際に起こりつつあります。軽症の方や明らかに救急車を必要としない場合などは、ぜひ自身で病院を受診すること、本当に重大な場合に救急車を利用してほしいということが、現場で働く私たちから市民のみなさんへのお願いです。

全国的に救急搬送は増加傾向にあります。本市でも同様であり年々増加しているのが現状です。こうした救急搬送の増加の原因には2つの特徴があります。1つは軽症患者の救急搬送です。もう1つは高齢者の救急搬送が増えていることです。高齢の方の急病というのは、私たち医師でも、とても分かりづらいのですが、皆さんに気を付けてほしいことは、高齢の方がいつもと様子が違うときは、重大な病気が隠れている可能性があります。その場合は、掛かりつけの病院に相談するか、それが不可能な場合は、救急車を呼んでください。もう1つは、突然発症した場合は、こちらも同様に重大な病気の可能性があるため、救急車を呼んでください。



関門医療センター 佐藤 穰 救命救急センター長